令和６年度事業報告

令和６年　４月　１日から

令和７年　３月３１日まで

あそ未来創造塾４期生

公益財団法人
阿蘇地域振興デザインセンター
ASO DESIGN CENTER

（総　括）

令和６年度も公益事業の活動指針を定めた「中期計画」に則り、「人材育成」「関係人口」「伴走支援」を重要なキーワードとして事業を実施いたしました。

特に、少子高齢化の進む現代におきましては、将来にわたり「住み続けられる阿蘇づくり」を進め、現在より少ない人口でも、多様性に富んだ成長力のある社会を構築していくことが求められており、そのベースとなる地域振興や観光振興事業の核となる若い世代を対象とした人材育成の強化を図り、同時にその対象を阿蘇地域の高等学校にも広げています。

観光面におきましては、台湾からの来訪者を主たるターゲットとしたインバウンド事業（観光庁補助事業）の新たな取り組みを行い、一方、国内旅行者に向けては、「地域ブランドづくり」として、『あか牛ハンバーグ王国』や『道の駅・物産館マップ』等の冊子・マップ作成等にも取り組みました。

事務局体制の構築といたしましては、事務局長（候補）の公募を行い、令和７年４月１日から田端文一氏を新事務局長として任用予定です。

１．人材育成

令和５年度に引き続き、熊本大学のご支援のもと、「第４期あそ未来創造塾」を開講し、地域が抱える多様な課題に挑戦するビジネスプランの創出と、それを支える強固なネットワーク構築を推進いたしました。４期目となる本年度は、１４名の塾生が参加し、質の高いビジネスプランが提案されました。

観光まちづくりを担う人材育成を目的とした「阿蘇地域観光リーダー育成講座」には１１名が参加し、ユニバーサルツーリズムなどの実践に向け、受講生同士が連携する仕組みづくりに取り組みました。各市町村の地域資源や人的資源を結びつけた観光戦略の構築に向けた具体的な動きが見られたことは、特筆すべき成果と言えます。

これらの二つの講座の修了生によって形成された重層的なネットワークは、阿蘇の未来を創造する確かな「根っこ」として着実に成長しています。

２．関係人口

「関係人口」の創出においては、あそ未来創造塾の実践をテーマとした起業型移住に着目し、現役世代をターゲットとした移住定住相談会を開催いたしました。その結果、３名の移住者の確保に繋がり、この取り組みは「NPO 法人ふるさと回帰支援センター」から高い評価をいただきました。

３．伴走支援

あそ未来創造塾および観光リーダー育成講座の修了生に対しては、起業や事業継続に向けた「独り立ち」支援として、情報発信のアシストなど、きめ細やかな伴走支援を実施いたしました。

４．その他

新たな阿蘇らしいアクティビティの創出として、登山と地域産業を結びつける「デジタルバッジキャンペーン」を実施いたしました。事後の調査により、この取り組みが予想を大幅に上回る経済波及効果をもたらしたことが明らかになりました。

また、令和６年度の基本財産運用益については、当初の予定額を上回る実績となりましたが、令和７年度は、アメリカ大統領による相互関税策の影響による為替の大幅な下落も予測されることから、今後も適切な情報収集を行い、事業運営を支える財源の確保に努めてまいります。

Ⅰ　令和６年度　決算概要

区　　分	金　額（千円）
収 益 合 計　①	８８，５０６
（内訳）	
基本財産運用益	７８，８０４
受取国庫補助金	６，０７５
受取地方公共団体補助金	２，０００
受取民間助成金	４００
市町村等負担金（※） ※竹田市、高千穂町、高千穂町観光協会等	１，１９２
雑収益	３５

費 用 合 計　②	８９，０９９
（内訳）	
事業費	７４，３３４
管理費（※） ※管理費には理事会費、顧問団当経費を含む	１４，７６５

当期収益費用差額　③　(①－②)	△５９３
前期繰越金　④	５７，８１５
次期繰越金　⑤　(③＋④)	５７，２２２

Ⅱ　評議員会・理事会・幹事会の開催について

１．評議員会

法律並びに定款に定められた重要な事項を決定する評議員会を４回開催しました。

・第１回評議員会（書面決議）

①開 催 日　　令和６年４月１７日（水）

②同意事項

議案第１号　理事の選任について

議案第２号　評議員の選任について

議案第３号　議案第１号から議案第２号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和６年４月１７日とすることについて

・第２回評議員会（書面決議）

①開 催 日　　令和６年５月７日（火）

②同意事項

議案第１号　理事の選任について

議案第２号　議案第１号から議案第２号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和６年５月７日とすることについて

・第３回評議員会

①開 催 日　　令和６年６月２５日（火）

開催場所　　熊本県庁　防災センター　３０４会議室

②報告事項

報告第１号　令和５年度事業報告について

③審議事項

議案第１号　令和５年度貸借対照表及び損益計算書正味財産増減計算書）の承認について

④そ の 他　　令和６年度事業計画、収支予算について

次期事務局長（候補）の募集について

・第４回評議員会（書面決議）

①開 催 日　　令和６年１０月１６日（水）

②同意事項

議案第１号　理事の選任について

議案第２号　議案第１号から議案第２号の提案を可決する旨の評議員会の決議があったとみなされる日は、令和６年１０月１６日とすることについて

２．理事会

当財団の運営に関する事項を決議する理事会を６回開催しました。

・第１回理事会（書面決議）

①開 催 日　　令和６年４月９日（火）

②同意事項

議案第１号　令和６年度第１回評議員会の開催について

議案第２号　議案第１号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和６年４月９日とすることについて

・第２回理事会（書面決議）
①開 催 日　令和６年４月２５日（木）
②同意事項
議案第１号　令和６年度第２回評議員会の開催について
議案第２号　議案第１号の提案を可決する旨の理事会の決議があったとみなされる日は、令和６年４月２５日とすることについて
・第３回理事会
①開 催 日　令和６年５月２８日（火）
②場　　所　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③審議事項
議案第１号　令和５年度事業報告について
議案第２号　令和５年度会計決算報告及び監査報告について
議案第３号　令和６年度第３回評議員会の開催について
④報告事項
報告第１号　（公財）阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）応募状況について
・第４回理事会
①開 催 日　令和６年１０月７日（月）
②場　　所　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③審議事項
議案第１号　（公財）阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長（候補）の選任について
議案第２号　令和６年度第４回評議員会の開催について
・第５回理事会
①開 催 日　令和６年１２月２６日（木）
②場　　所　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③審議事項
議案第１号　令和６年度第１回会計補正予算について
④報告事項
報告第１号　公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長（候補）の紹介について
・第６回理事会
① 開 催 日　令和７年３月４日（火）
② 場　　所　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③ 審議事項
議案第１号　令和７年度事業計画について
議案第２号　令和７年度会計予算について
議案第３号　公益財団法人　阿蘇地域振興デザインセンター事務局長の選任にについて
議案第４号　公益財団法人　阿蘇地域振興デザインセンター育児・介護休業等に関する規程の一部改正について

3．幹事会

当財団の事業運営に関する事項を協議し、意見を具申する幹事会を４回開催しました。

・第１回幹事会

①開 催 日　　令和６年５月２４日（金）
②場　　所　　熊本県阿蘇合同庁舎
③協議事項
　１）令和５年度事業報告について
　２）令和５年度会計決算報告について
④報告事項
　１）人事異動および退職に伴う役員の就退任について
　２）（公財）阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）応募状況について
　３）令和６年度第３回理事会・第３回評議員会の開催について

・第２回幹事会

①開 催 日　　令和６年１０月２３日（水）
②場　　所　　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③報告事項
　１）（公財）阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）の選任について
　２）人事異動に伴う役員就任について
　３）令和６年度上半期事業進捗状況について

・第３回幹事会

①開 催 日　　令和６年１２月２４日（火）
②場　　所　　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③協議事項
　１）令和６年度第１回補正予算について
④報告事項
　１）（公財）阿蘇地域振興デザインセンター事務局長（候補）の紹介について

・第４回幹事会

①開 催 日　　令和７年２月２７日（木）
②場　　所　　阿蘇草原保全活動センター　草原学習館
③協議事項
　１）令和７年度事業計画について
　２）令和７年度会計予算について
　３）公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター次期事務局長（候補）の選任
　４）育児・介護休業等に関する規定に一部改正について

公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター（以下、阿蘇 DC）の中期計画に基づく令和６年度の事業実施状況は次のとおりです。

事業番号 （中期計画における取組み番号）	事業の内容	個別事業名 （中期計画における取組内容）	決算額 （単位：千円）
公１ （取組み１）	豊かな自然による世界ブランドの確立 ～阿蘇草原の維持・再生～	ア　草原再生 PR 事業 （１－①草原再生保全支援事業）	４，５０５
		イ　野焼き支援事業 （１－②野焼き支援事業）	１，５０５
		ウ　阿蘇産品の振興 （１－③阿蘇資源の発掘とブランドマネジメント）	２，６０６
		エ　世界ブランド事業の推進 （１－④世界ブランド事業の推進）	１０，００５
		（公１事業費計）	１８，６２１
公２ （取組み２）	地域の元気再生による地域力向上	ア　地域元気再生支援事業 （２－①住民主体による地域活動の支援）	５，５８７
		イ　的確な情報の発信 （２－④情報の一元化と戦略的な情報発信）	２，２９６
		ウ　阿蘇回帰運動への取り組み （２－③阿蘇ファン拡大に向けた取組み）	１，３４６
		エ　人材育成事業 （２－②地域づくりを担う人材の育成）	５，３６９
		（公２事業費計）	１４，５９８
公３ （取組み３）	広域連携による競争力のある観光地づくり	ア　新たな阿蘇資産の構築・推進 （３－①付加価値の高い新たな阿蘇資産の創出）	５，８７５
		イ　何度も訪れたくなる観光地域づくり （３－②何度も訪れたくなる観光地域づくりの推進）	６，７８２
		ウ　広域連動型観光まちづくり事業 （３－③広域連携による観光地域づくりの推進）	１７，５３９
		（公３事業費計）	３０，１９６
事業費合計（人件費按分前）			６３，４１５

≪公益目的事業１≫

豊かな自然による世界ブランドの確立～阿蘇草原の維持・再生～（取組み１）

阿蘇特有の草原をはじめとした豊かな地域資源を阿蘇地域全体の地域活性化につなげていくため、地域資源を発掘し、維持・継承を支援するとともに、世界に通じるブランドとして確立するための取組を展開していきます。

【ア 草原再生 PR 事業】

事業内容	【１　阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払】（閲覧資料 1） 草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもとに立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇ＤＣの事業を付託しました。 ・地元小学生の草原環境・体験学習 ・草原ボランツーリズム普及啓発活動 セミナー開催 ・広報活動	
決算額	【　総　額　】	４，５０５　千円
	①阿蘇草原保全支援システム（支払負担金）	４，５００　千円
	事務経費	５　千円

【イ 野焼き支援事業】

事業内容	【１　阿蘇草原保全支援システムへ負担金支払】（閲覧資料 1） 草原景観維持の施策を地域統合的に検討実施する目的で熊本県主導のもと立ち上げた「阿蘇草原保全支援システム」へ阿蘇ＤＣの事業を付託しました。 ・地元小学生の草原環境・体験学習 ・普及啓発活動・セミナー開催など	
決算額	【　総　額　】	１，５０５　千円
	①阿蘇草原保全支援システム（支払負担金）	１，５００　千円
	事務経費	５　千円

【ウ 阿蘇産品の振興】

事業内容

【1　「販路開拓・拡大キャンペーン」事業】（資料１）

令和６年度は観光イベントなどの配布物のなかで評価の高い「阿蘇の食卓 VOL２・VOL３」を増刷しました。

近年、米に関して注目が集まるなか「阿蘇の食卓 VOL４米編」を作成しました。

阿蘇地域の米の歴史や文化に焦点をあて特集を組み、阿蘇の米についての認知度向上に努めました。（発行部数　５，０００部）

阿蘇の食卓 Vol.4

【2　関係人口とのパートナーシップによる産品の振興や景観づくり】（資料２）

あか牛丼に次ぐ阿蘇らしいメニューとして発行したハンバーグマップ（２０２３年）の改訂版発行の予定でしたが、取り扱い飲食店が４５店に増加していることから、新たな地域ブランドとして「阿蘇あか牛ハンバーグ王国」と銘打ち、新たに発行しました。今後の阿蘇地域を周遊するツールとなるとともに、このキャンペーンを通して「草原の維持・保全」の一助にと考えています。

（発行部数５，０００部）

ハンバーグマップ

あそ未来創造塾の取り組みから産まれたモノとヒトを素材にした冊子「よかとこ」（情報誌）を増刷しました。

また、英訳を阿蘇ジオパーク推進協議会に委託しました。

よかとこ

【3　第３回阿蘇地域世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業】

阿蘇地域にある世界農業遺産阿蘇フットパスコースの魅力化の一環として、阿蘇市（手野コース）にて、第３回フットパス大会を開催しました。

当日は、手野名水会６名のガイドの元、５７名が参加し、国造神社や手野地区の素晴らしい農村景観を堪能しました。

第３回フットパス集合写真

決算額	【　総　額　】（受取助成金／４００千円）	２，６０６　千円
	①「販路開拓・拡大キャンペーン」事業	１，５０７　千円
	②関係人口とのパートナーシップによる産品の振興や景観づくり	６８０　千円
	③第３回阿蘇地域世界農業遺産を巡るフットパスコース魅力化事業	４０６　千円
	事務経費	１３　千円

【エ 世界ブランド事業の推進】

事業内容	【１　阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金支援】（閲覧資料２） 平成２５年５月の「世界農業遺産」の認定、平成２６年９月の「阿蘇世界ジオパーク」の認定など、世界に通じるブランド確立に向けた動きを踏まえ、様々な団体と連携を図り、「豊かな自然を活用した世界ブランドの確立」に向けた取り組みを行いました。 ・阿蘇ジオパーク推進協議会への負担金 阿蘇ジオパーク推進協議会の活動支援のために必要な経費の一部を負担し、支援しました。

決算額	【　総　額　】	１０，００５　千円
	①阿蘇ジオパーク推進協議会（負担金）	１０，０００　千円
	事務経費	５　千円

≪公益目的事業２≫

地域の元気再生による地域力向上（取組み２）

令和６年度は、地域元気再生支援事業の主な使途は、地域イベントや Wi-Fi 設備拡充など、多岐に渡りました。

ＡＳＯＮＡＶＩ（アソナビ）では、関係人口ＷＥＢサイトの更新や車や人流の流れを掴むためのライブカメラとの連携を行いました。

阿蘇地域のＣＡＴＶやエフエム放送などの身近な媒体及びＳＮＳを活用した情報発信にも取り組みました。

４期目を迎えた「あそ未来創造塾」では、本年度も熊本大学と連携し、阿蘇地域の次代を担う人材の育成を図りました。

地域の課題解決に向けた「地域づくりセミナー」は３回開催しました。

【ア 地域元気再生支援事業】

事業内容	【１　令和６年度阿蘇地域元気再生支援事業】（資料３） 地域の元気再生による地域力向上をめざし、地域の自然、文化歴史、産業、生活習慣等の特性を地域資源として発見、活用し、魅力ある地域づくりと地域の活性化を図ることを目的とした取り組みに対し、助成を行いました。 【助成事業数１１件】 ①阿蘇市 長寿ケ丘公苑つつじ上部除草等整備事業 （長寿ケ丘管理組合） ②南小国町 黒川温泉「湯あかり」再構築事業 （黒川温泉観光協会） きよらの郷秋の合同コンサート （きよらの郷秋の合同コンサート実行委員会） ③小国町 多様な観光ニーズを促進・整備する事業 （一般財団法人　学びやの里） ④産山村 うぶやまピクニック事業 （産山村観光協会） 交流人口拡大・移住定住促進マルシェ事業 （一般社団法人　うぶやま未来ラボ） ②きよらの郷秋の合同コンサート ③学びやの里 Wi-Fi 設置 ④うぶやまピクニック事業

事業内容	⑤高森町 サイン整備事業 （一般社団法人　高森観光推進機構） ⑥南阿蘇村 南阿蘇村村制施行２０周年記念事業 （南阿蘇村） ⑦西原村 西原村夏まつり２０２４ （西原村商工会青年部） 八王社例大祭鬼神どんまつり （宮山八王社例大祭まつり実行委員会） ⑧山都町 山都町服掛松キャンプ場スライダー・滑り台解体事業（山都町）	 ⑤サイン事業 ⑥村制 20 周年記念式典 ⑦鬼神どんまつり
決算額	【　総　額　】　５，５８７　千円	
	①阿蘇地域元気再生支援事業助成金　５，５８４　千円 事務経費　３　千円	

【イ 的確な情報の発信】

事業内容

【1　観光情報ポータルサイト「阿蘇ナビ」と関連コンテンツの管理・運営・保守】

ＡＳＯＮＡＶＩ（アソナビ）の拡充を図り、阿蘇地域の情報を発信しました。
阿蘇地域関係人口 WEB サイトの更新や「あそ未来創造塾」の活動を発信しました。

ASONAVI

【2　阿蘇ＤＣホームページの管理・運営・保守】

阿蘇地域元気再生支援事業や各種セミナー、イベント情報などを発信しました。

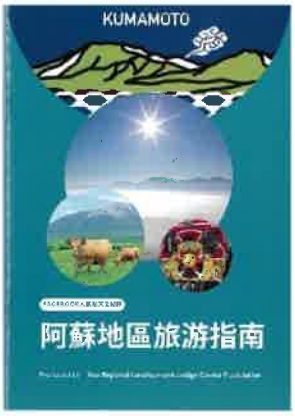
閲覧数　１６，３８９件（令和７年３月末現在）

【3　身近な情報媒体などでの情報の発信】

●ＣＡＴＶやＳＮＳ等を活用した情報発信事業
阿蘇地域のＣＡＴＶやエフエム放送などを活用して、「あそ未来創造塾や」「観光リーダー育成講座」、「阿蘇地域農業遺産フットパス」などの発信に加え、日々、ＳＮＳを活用した情報発信も行いました。

●ＳＮＳ繁体字版構築のための実証・実験事業
（資料 4）
台湾向けのＳＮＳとして、繁体字版の情報発信を週に１回ペースで行っています。

台湾向け Facebook（フォロワー6,696 人）



台湾向け FB 冊子

【4　情報誌の制作】（資料 5）

阿蘇ＤＣの事業内容を掲載した阿蘇の人のための情報誌『aso lulu』第２５号を発行しました。
（発行部数：２，５００部）
※当財団 HP からご覧いただけます。
https://www.asodc.or.jp/library/asolulu.html

asolulu 第 25 号

決算額	【　総　額　】	２，２９６　千円
	①阿蘇ナビ等の管理・運営・保守	５６５　千円
	②阿蘇 DC ホームページ管理・運営・保守	１５１　千円
	③身近な情報媒体などでの情報の発信	１，００８　千円
	④情報誌の制作	５４３　千円
	事務経費	２９　千円

【ウ　阿蘇回帰運動への取り組み】

事業内容

【１　新たな関係人口創出事業】

令和６年度において、令和５年度に構築した関係人口 Web サイト運用を拡充し、関係人口による阿蘇ファンの拡大に取り組むため、新たな移住者情報を掲載しました。

関係人口 WEB サイト

【２　大都市圏における関係人口相談事業】

県内に進出した TSMC により人口増加が期待されるなか、阿蘇地域にもその波及を進めていくことが求められています。

また、働き方の変化により、魅力的な地域を選ぶ傾向が顕著になりつつあります。令和６年度は東京と福岡で移住定住相談会を開催しました。

●首都圏移住定住相談会
「阿蘇地域移住セミナー開催」
期日：令和６年６月２１日（金）～２２日（土）
場所：東京交通会館８F
　　ふるさと回帰支援センター
　　受講者　１４名
　　相談者　　６名
　　移住者　　３名（実績）

移住定住相談チラシ

●福岡都市圏移住定住相談会
期日：令和７年３月２日（日）
場所：福岡市交流文化創造拠点　ＨｉＲａＫｕ
内容：阿蘇地域の移住定住担当者による相談会
　　＆研修会開催
来場者約１００名（アンケート回答者）

HiRaKu での相談会

事業内容	【３　阿蘇地域移住定住研修会】 期日：令和６年９月９日（月） 場所：阿蘇地域振興局　大会議室 講師：國學院大學観光まちづくり学部 嵩　和雄准教授 各担当者等の情報交換とスキルアップ、先進的な考え方や取り組みについての学習機会の提供及び情報の共有を図るため、研修会を開催しました。 移住定住研修会の様子 「移住定住における選ばれる地域とは？」をテーマに、移住者の動機、移住における課題、移住定住の成功に向けた取り組みなどについてご講演いただきました。各市町村の移住定住担当者のグループワークを行い、課題等に対する解決策を議論しました。
決算額	【　総　額　】　１，３４６　千円 ①新たな関係人口創出事業　２３８　千円 ②大都市圏における関係人口相談事業　６８８　千円 ③阿蘇地域移住定住研修会　４２０　千円

【エ 人材育成事業】

事業内容	【１　令和６年度　あそ未来創造塾】（資料６、資料７） 「あそ未来創造塾」は、令和３年度より熊本大学熊本創生推進機構のご支援のもと、地域課題を解決する地域イノベーションをおこし、地域に生きる格好いい大人を発見・育成し、進学や就職で阿蘇を離れた子供たちが帰ってきたくなる環境を創出することにより、本格的な人口減少社会を迎える中でも、持続可能な阿蘇地域を創造していくことを目的として開催しています。 第４期オリエンテーション ４期目にあたる６年度は、１４名の塾生を迎え、７月２４日(水)のオリエンテーションを皮切りに、翌年３月８日（土）の修了式まで、延べ１４日間にわたり実施しました。 今期の塾生は出席率も高く、質の高いビジネスプランが多数提案され、地域が抱える多様な課題に挑戦するビジネスプランの創出と、それを支える強固なネットワーク構築を推進することが出来ました。 第４期修了式

事業内容

●あそ未来創造塾スプリングフォーラム（資料８）

期　日：令和６年３月２６日（水）

場　所：ホテルサンクラウン大阿蘇

参加者：３５名

３回目となる「スプリングフォーラム」は、４期生に１～３期生を交えての学びと交流の場として開催しました。

今回は姉妹塾の「やまが未来創造塾」から３名のゲストを迎え、発表と意見交換等を行いました。

４期生紹介ポスター

スプリングフォーラムのようす

【２　地域振興などに関するキャリア教育】

●熊本県立高森高校でオンライン海外研修

期日：令和７年３月１７日（月）

場所：熊本県立高森高等学校

参加者：高森高校生　３４名

ミャンマーの若者（日本語学習者）と高森高校生をオンラインで繋ぎ、SDGs や寄付文化をテーマに意見交換を行い、異文化理解や国際的な視野を養うことを目的に開催しました。

ミャンマーの学生と
オンラインで交流

【３　地域づくりセミナー】（資料８）

●第１回地域づくりセミナー

日　時：令和６年８月７日（水）
　　午後２時３０分～午後４時

場　所：阿蘇草原保全活動センター
　　草原保全センター

テーマ：「学びが地域を創る」
　　～地域を育てる学力と関係人口～

講　師：鳥取大学地域学部　筒井　一伸教授

参加者：３１名

地域と高校の連携による「地域を育てる学力」の重要性や地域住民との協働、卒業生との継続的な関わり方などを提示され、地域資源を活用した高校の特色化や、地域ぐるみの人材育成の必要性についてご講演いただきました。

事業内容	●第２回　地域づくりセミナー 日　時：令和７年１月２４日（金） 　　午後２時３０分～午後４時 場　所：阿蘇草原保全活動センター 　　草原保全センター テーマ：阿蘇地域の振興と阿蘇ＤＣの取り組み 講　師：田端　文一事務局長候補 参加者：４４名 　阿蘇地域の現状と課題、解決策について提示され、阿蘇 DC の組織概要や取り組みについての説明も行われました。 ●第３回　地域づくりセミナー 開催日：令和７年２月１２日（水） 場　所：ホテルサンクラウン大阿蘇 講　師：大正大学地域創生学部　柏木　千春教授 発表者：阿蘇くじゅう観光圏観光協会女性事務局長 　　平野敦子氏（産山村観光協会事務局長） 　　染田麻弓子氏（高森観光推進機構事務局長） 　　神元詠子氏 　　（豊の国千年ロマン観光圏事務局次長） 参加者：３７名 　柏木教授による基調講演後、観光における女性の視点の重要性をテーマとして、地域で活躍する女性リーダーによるトークセッション及び参加者同士によるグループ討議を行っていただきました。	
決算額	【　総　額　】　５，３６９　千円 ①あそ未来創造塾　４，２８０　千円 ②地域振興などによるキャリア教育　１５３　千円 ③地域づくりセミナー　９３６　千円	

≪公益目的事業３≫
広域連携による競争力のある観光地づくり（取組み３）

令和６年度においては、新たな阿蘇資産の構築を目的に、阿蘇地域でＤＸと連動したアクティビティとして「デジタルバッジキャンペーン」を阿蘇地域で実施しました。

国内旅行者向けとしては、「女子旅ＥＸＰＯ２０２５」（福岡市）に出展し、阿蘇地域の観光ＰＲと酒蔵の新酒の試飲会を行ったほか、阿蘇地域への観光客数が多い福岡で、天神エフエムと連携したＰＲイベントを開催しました。

阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の関連では、インバウンド誘客や国内旅行者誘客を図るため、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPO２０２４」への出展を行いました。

広域連動型観光まちづくりにおいては、観光庁補助「地域観光新発見事業」の採択を受けて、台湾のファミリー層をターゲットに、阿蘇地域３エリア（阿蘇、南阿蘇、北阿蘇）において、ミニツアーのモデルコース造成及び台湾小旅行社への販売整備を行いました。

また、観光まちづくり人材育成の一環として、「観光地域づくりリーダー育成講座」を開講し、１１名が修了生しております。

【ア 新たな阿蘇資産の構築・推進】

事業内容

【１　付加価値の高いアクティビティの構築】（資料９、閲覧資料３）

●デジタルバッジキャンペーン

阿蘇地域の誘客と経済の活性化を目的に、登山地図ＧＰＳアプリ「ＹＡＭＡＰ」を活用したデジタルバッジキャンペーンを実施しました。

参加者数４，９６０人は当初の計画の約２倍の数値であり、観光消費額も２，０００万円を大きく上回る結果となりました。

開催日：令和７年１０月５日（土）～１２月８日（日）

エリア：阿蘇地域

なお、この事業は熊本県の補助事業「夢チャレ」の助成を受けて実施しました。

【２　阿蘇エコツーリズム協会の支援】　（閲覧資料４、閲覧資料５）

阿蘇のエコツーリズムの具現化を目指すエコツーリズム協会への支援を行っています。

令和７年３月１日（土）には、石積み文化をテーマとした「サステナブルツーリズムシンポジウム」が南阿蘇村で開催されるなど活発になっています。デザインセンターも、このシンポジウムの開催を支援しました。

サステナブルシンポジウム

【３　阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援】

阿蘇地域の農泊施設などで構成するグリーンツーリズム協議会の研修会や先進地視察などを支援していますが、令和６年度は活動実績がなかったため、支援は行っていません。

事業内容	【４　阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金】 阿蘇山上ビジターセンター運営協議会にオブザーバーとして参加するとともに、当協議会が行う情報提供等の活動に対し支援を行いました。	
	【５　（公社）熊本観光連盟へ参画】 熊本県内の観光協会等の事務局長会議に参加し、観光情報の共有やネットワーク化などに取り組みました。	
決算額	【　総　額　】（補助金／２，０００千円）	５，８７５　千円
	①付加価値の高いアクティビティの構築 （熊本県補助金／２，０００千円）	４，８５８　千円
	②阿蘇エコツーリズム協会の支援	３００　千円
	阿蘇エコツーリズム協会 「サステナブルツーリズム」負担金	４００　千円
	③阿蘇グリーンツーリズム協議会の支援	０　千円
	④阿蘇山上ビジターセンター運営協議会負担金	１００　千円
	⑤（公社）熊本県観光連盟へ参画	１００　千円
	事務経費	１１７　千円

【イ　何度も訪れたくなる観光地域づくり】

事業内容	【１　国内旅行者誘客創出事業】 ●女子旅ＥＸＰＯ２０２５への出展 開催日：令和７年２月９日（日） 会　場：電気ビル　みらいホール福岡市で開催された「女子旅ＥＸＰＯ２０２５」にデザインセンターも出展しました。 今回は、女子旅向けの観光情報の発信に合わせて、阿蘇地域の二つの酒蔵の「新酒」の試飲会を開催しました。 会場の様子 ●阿蘇道の駅物産館マップ作成（資料１０） 阿蘇地域には６つの道の駅があり、物産館や直売所も多数あります。令和６年度は、道の駅や物産館などを巡る周遊ツアーの造成を目的としてマップを作成しました。 阿蘇道の駅物産館マップ

事業内容

【２　マイクロツーリズム事業】（資料１１）

●阿蘇くまもと国際空港での観光ＰＲ事業
　旅客ターミナル１階案内所前にある情報コーナーにて、阿蘇地域に関する動画やパンフレットなどを提供しました。なお、定期的に棚卸を実施し、可能な限りフレッシュな情報発信に努めており、高森町に第２本社を置く株式会社コアミックスの首都圏向けの熊本グルメの情報誌（ポモドーロ）も、同時に配布しています。

情報コーナー

【３　各種観光ＰＲ事業】

　阿蘇地域への観光客数が最も多い福岡県で、天神エフエムと連携して、ＰＲイベントを福岡市内で開催しました。観光ＰＲに加えて移住定住のアンケート調査も実施しました。
「阿蘇へ行こう！フェア」
期日：令和６年５月１６日（木）
場所：交流文化創造拠点 HiRaKu
内容：ガラポン抽選会
　　アンケート調査５７名
「おいでよ阿蘇へ」
期日：令和６年１０月２０日（日）
場所：交流文化創造拠点 HiRaKu
内容：米のつかみ取り
　　アンケート調査１１７名

ガラポン抽選

新米のつかみ取り

【４　拠点施設のライブ映像による人流創出実証事業】（資料１２）

　道の駅２カ所（おぐにゆうステーション・道の駅阿蘇）及び南阿蘇村ヨ・ミュールに設置しました。また、阿蘇くまもと空港と大津町ビジターセンターに、ライブカメラ用ＱＲコード案内版やパンフレットを設置し、ライブカメラ誘導策を講じています。

ライブカメラ設置状況（道の駅阿蘇）

決算額	【　総　額　】	６，７８２　千円
	①国内旅行者誘客創出事業	１，５９８　千円
	②マイクロツーリズム事業	１，３２０　千円
	③各種観光 PR 事業	１７９　千円
	④拠点施設のライブ映像による人流創出実証事業	２，９６６　千円
	事務経費	７１９　千円

【ウ 広域連携による競争力のある観光地づくり】

事業内容	＜阿蘇くじゅう観光圏事業・・・地域連携 DMO＞ 令和６年度は、観光地域づくりマネージャーの研修会を受講し、既存のマネージャーのスキルアップに努めました。同時に欠員となっていた高森町の観光地域づくりマネージャー補充のために、高森町観光推進機構から１名を研修会に派遣し、観光庁認定のマネージャー１名を育成しました。 来訪者満足度調査を夏季・冬季の２回実施。また、訪日外国人へのヒアリングを２回実施しました。いずれの調査からも、コロナ感染拡大前と比較して、来訪者数及び個人消費額も増加している調査結果を得ることが出来ました。 今後も調査結果を精査し、選ばれる観光地としてのさらなる高みを目指します。 なお、調査結果については、対象宿泊施設や観光協会などにフィードバックし、今後の対応について共有しています。 訪日外国人旅行者への対応については、東アジア圏からの誘客を強化するために、観光庁事業の採択を受け、特に台湾台北からの定期便２社の運航参入を最大のチャンスと捉え、台湾旅行社（甲種旅行業組合）との連携強化に尽力しました。 また、欧米豪からの誘客に関しては、阿蘇ジオパーク推進協議会のネットワークを活用した方策を講じました。（各国のジオパーク事務局への情報提供のための多言語化への取り組みなど）
	【１　地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業】（観光庁） （１）阿蘇くじゅう観光圏に関する事業 ●阿蘇くじゅう観光圏マーケティング調査　※満足度調査（資料１３） （阿蘇 DC、竹田市、高千穂町対象） ●全国観光圏推進協議会共通申請事業 全国観光圏推進協議会事業（研修会参加など） Undiscovered　Japan 情報発信事業 観光庁認定観光地域づくりリーダーのスキルアップとリーダー育成

事業内容	【２　九州３観光圏連携事業】 九州３観光圏連携による連絡調整会議開催及び参加
	【３　阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業】 全国観光圏推進協議会のサクラクオリティ委員会の休会に伴い、事業を見送りました。
	【４　阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援】 インバウンド誘客や国内旅行者誘客を図るため、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPO２０２４」への出展を行いました。 今回の「ツーリズムEXPO２０２４」には、同デザイン会議から永田議長及びデザインセンターからは渡邉理事長も参加しました。 ツーリズムEXPOジャパン 國學院大學観光まちづくり学部から、３名の学生もスタッフとして手伝っていただきました。 デザイン会議総会を開催し、九州運輸局から令和６年度観光庁事業に関して報告していただきました。
	【５　令和６年度阿蘇地域観光リーダー育成講座】（資料１４） 魅力ある観光地域づくりをリードする「観光人材」を育成するために、各地域の情報収集や調査をもとに地域全体のレベルアップを図り、引き続き、魅力的な商品企画を提案出来る人材育成を図りました。 なお、令和６年度は、関係市町村及び観光協会などから１１名が受講し、それぞれの地域資源などを活かした旅行商品などを造成しました。 令和６年度修了式 （修了生　令和３年度１０名　令和４年度１２名　令和５年度１２名）
	【６　地域観光新発見事業】（観光庁）（定率補助）（資料１５、閲覧資料６） 観光庁補助「地域観光新発見事業」の採択を受けて、台湾のファミリー層をターゲットに、阿蘇地域３エリア（阿蘇、南阿蘇、北阿蘇）において、ミニツアーのモデルコース造成及び台湾小旅行社への販売整備を行いました。 （事業費）８，０００千円　（補助額）６，０００千円

事業内容	【７　阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業】 ジオツーリズム促進の一環として、推進協議会と連携して、発行物（よかとこ）の多言語化を行いました。
	【８　阿蘇地域におけるインバウンド向け旅行商品に関する説明会】 観光庁事業を活用し、令和４年度及び令和５年度の２か年にわたり造成した旅の商品に加え、令和６年度事業で造成した台湾からの訪日旅行者向けの商品について、８月１６日～１９日に開催された台北国際旅行博に出展（道の駅阿蘇及び環境省も出展）し、台湾の甲種旅行業者などを対象とした商談会を開催しました。 ２０２４台湾国際観光博覧会 (TiTE)
決算額	【　総額　】（補助金・負担金／７，２６７千円）　１７，５３９　千円
	①地方部での滞在促進のための地域周遊観光促進事業　２７０　千円 全国観光圏推進協議会事業（定率補助／７５千円） 全国観光圏連携事業（自主財源） （竹田市、高千穂町、高千穂町観光協会／２２０千円） ・来訪者満足度調査　１，４２１　千円 ・観光地域づくりマネージャーステップアップ研修　７４　千円 ・Undiscovered Japan 情報発信事業　６９　千円 ②九州３観光圏連携事業　３７４　千円 観光圏事業（阿蘇市単独）（受取負担金／９７２千円）　９７２　千円 ③阿蘇くじゅう観光圏観光品質認証制度継続事業　０　千円 ④阿蘇くじゅう高千穂デザイン会議の運営・支援　１，０００　千円 ツーリズム EXPO ジャパン２０２４　６４５　千円 ⑤令和６年度阿蘇地域観光リーダー育成講座　２，７２８　千円 ⑥地域観光新発見事業（定率補助／６，０００千円）　８，０００　千円 ⑦阿蘇ジオパーク推進協議会との連携事業　４９５　千円 ⑧インバウンド向け旅行商品の説明会　１，２２１　千円 事務経費　２７０　千円